

平成30年2月13日

西部農林振興センター県央事務所農業普及部

| | |
|------------|--|
| 標 題 | 西洋野菜の生産・販売が拡大 ～邑南町西洋野菜研究会定期総会が開催～ |
|------------|--|

(ダイジェスト)

1月19日、邑南町田所公民館にて邑南町西洋野菜研究会定期総会が開催。当研究会では、主要品目の「ロマネスコ」「トレビス」に加え、推奨品目「スイスチャード」など、約40品目の西洋野菜を栽培。目標販売額4,000千円を達成。

邑南町西洋野菜研究会は、西洋野菜の栽培と普及を目指し、町内の生産者や飲食店など関係者(会員21名)が集まり、一昨年1月に設立されました。

総会では、生産振興活動として、年間を通じた生産販売のため品目研修会を開催し、主要品目16品目、推奨品目24品目を中心に栽培が行われるとともに、矢上高校産業技術科との連携による試験栽培に取り組み、邑南町に適した栽培品目の検討状況が報告されました。

また、販売・PR活動として、東京、広島での商談会参加、広島向けの市場出荷や飲食店への定期販売、松江向けの販売を新たに開始するなど、販売額は、目標の4,000千円を超える4,500千円を達成しました。

さらに、西洋野菜の魅力や認知度を高める活動として、町民を対象に「西洋野菜活用セミナー」の開催、産直市での試験販売などの活動報告もありました。

平成30年度は、生産が増えたことにより、新たに集荷場の整備が計画されるとともに、年間販売計画の立案、新規品目試験を進めながら、販売金額6,000千円を目指していくことが承認されました。

総会に続き、トキタ種苗(株)から、「年間を通じた西洋野菜の栽培について」と題し、講演が行われ、会員一同熱心に聴講しました。

普及部として、研究会、矢上高校との連携を図り、年間を通じた生産販売ができるよう試験栽培等支援したいと考えています。



栽培講習会の様子



試験品目「サボイキャベツ」